

M3T-MR308およびM3T-MR30 ご使用上のお願い

M16Cファミリ用リアルタイムOS M3T-MR30およびM3T-MR308の使用上の注意事項を 連絡します。

- タスクポーズ機能使用時の注意事項

1. 該当製品

- (1) 後述2項の現象1が発生する製品

M32C/90, M32C/80, M16C/80および M16C/70シリーズ用

M3T-MR308 V.1.20 Release 1 ~ M3T-MR308 V.1.20 Release
1B

- (2) 後述2項の現象2が発生する製品

M32C/90, M32C/80, M16C/80および M16C/70シリーズ用

M3T-MR308 V.1.00 Release 1 ~ M3T-MR308 V.1.20 Release
1B

M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10および M16C/Tinyシ
リーズ用

M3T-MR30 V.3.00 Release 1 ~ M3T-MR30 V.3.30 Release 2

2. 内容

該当製品のタスクポーズ機能を組み込んだプログラムを、エミュレータデバッガ にロードしてデバッ
グする際、以下のいずれかの現象が発生する場合があります。

現象1 : PAUSE 状態のタスクのプログラムカウンタ値が、エミュレータ
デバッガのMRタスクポーズウィンドウに誤って表示される。

現象2 : タスクポーズを解除できない。(この現象が発生した場合、以
後アプリケーションが正常に 動作しなくなる可能性があります。)

3. 発生条件

(1) 現象1の発生条件

MRタスクポーズウィンドウで、PAUSEボタンもしくはCOMEボタンを押下してタスクをPAUSE状態にした場合、必ず発生します。

(2) 現象2 の発生条件

MRタスクポーズウィンドウで、PAUSEボタンを押下してタスクをPAUSE状態にした場合、発生することがあります。

注意：

コンフィグレーションファイルでtask_pause = YESとしても、発生条件に該当していなければ、上記の現象は発生しません。

4. 回避策

(1) 現象1の回避策

一旦、プログラムの実行を停止し、実行を再開すれば正しい値が表示されます。

(2) 現象2の回避策

回避することは出来ません。

現象が発生した場合、リセット後、プログラムを再実行するようにしてください。

5. 恒久対策

次期バージョンアップで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。